



施設長トーク 走れ“アロー号”

西日本シティ銀行が発行している「博多に強くなろうシリーズ No. 76」に、標題の「走れアロー号」が特集されていた。アロー号とは、手作りの車で約 100 年前に福博の街を時速 50Km 近くで走っていたそうで今でも走れる自動車のことである。つまり、現存する最古の国産車ということになる。このアロー号は、矢野倅一氏が(当時 23 歳の青年)手作りで作り出した自動車である。車のタイヤとプラグとマグネットだけは、外国製品に頼っていたが、その他は全部工夫したそうである。出来上がったが、どうしてもエンジンがかからないとのこと。ちょうど第一次世界大戦の青島(チンタオ)作戦で捕虜になったドイツ人が、福岡に収容されていて、その中にベンツの技師がいたそうである。見てもらおうとキャブレターがおかしいといわれ、上海で売っているから紹介すると言われたそうである。それで倅一氏は、上海まで行って英国製のゼニスのキャブレターを買って帰ったということである。その代金は、42円60銭だったそうで上海までの往復船賃が当時16円なので、その高価さがわかる。ちなみにアロー号は、4人乗り、水冷2気筒、1054cc、15馬力、前進3段、後進1段、時速約50kmだったそうである。もう一度書くが、アロー号を作り出したのは、矢野倅一氏である。すでに気づいた方もおられることと思うが、矢野氏は、現在の「矢野特殊自動車」の創始者である。私の知る限り、たった一人、知的な発達に課題のある方がこの会社で40数年間働き続けていたことを記憶している。現東福岡特別支援学校出身の方である。矢野特殊自動車会社から永年勤続表彰を受けておられることを忘れられない。



多機能型障がい福祉サービス事業所えーる油山施設長 小関 正利

☆ふれあいバザー☆



2月2日(土)の11時より葦の家の敷地内でふれあいバザーが催されました。えーる油山からも出店を行ない、授産品の販売と共にえーる油山の畑で採れた聖護院だいこん・青首だいこん・博多かぶの販売も行ないました。前日に仲間と採った新鮮なだいこんやかぶは、昨年に引き続きご好評いただいて完売となりました!(支援員 大坪)

マリンワールドに行きました!

2/18(月)就労継続支援B型の仲間たちは、毎月積み立てていたお金を使ってマリンワールドに行きました。天候にも恵まれ、イルカショーを見たり、アシカに餌をあげたりすることが出来ました。仲間のMさんは暗闇の中で光っているクラゲの綺麗さに感動したそうです\(^o^)/ (支援員 竹下)

節分

2月5日に豆まきを行ないました!豆まきは、季節の変わり目には邪気が生じるといわれており、その邪気を払うための儀式が始まりだそうです。鬼に扮装した職員と仲間がえーる内を練り歩き、元気な「鬼は外!福は内!」の掛け声とともに厄払いをしました!(支援員 藤吉)



☆☆3月の予定☆☆

3日 油山市民の森 椿まつり
7日 ハローデイ春日店バザー
10日 障がい者駅伝大会
(海の中道海浜公園)
12日 ハローデイ橋本店バザー

14日 ハローデイ周船寺店バザー
28日 ボンラパス薬院店バザー
30日 仲間休所日

※新規利用者の移行支援を実施します。

